



詩

日々の生活などから得た感動や心に
思うことを表したもの。
一定のリズムをもつ形
式のもの・文字数など
のきまりがない自由な
形式があります。



短歌

「5・7・5・7・7」の31音で構成されて
います。
音の数が限られているので難しそうに
感じるかもしれませんが、音の数が限
られていることで伝えたいことを整理
できるというメリットでもあります。



俳句

「5・7・5」の17音で構成されています。
季節を表す「季語」を必ず入れるきまり
になっているので、自然
や季節を題材にしている
ことが多いです。



芸術の秋到来!

～ことばの芸術「文芸」に挑戦してみよう～

夏の暑さも少しずつやわらぎ、秋の足音が聞こえてくるようですね。過ごしやすい秋に、お家で読書もいいけれど、本を読むのも飽きてきたなあ、というみなさんは、ことばの芸術である「文芸」に挑戦してみませんか？
ちょっとハードルが高いなという人には「詩集」や「歌集」を読むのもおすすめですよ。
ことば遊び感覚で、日本語の美しさに触れてみてはいかがでしょうか？

回文

「竹やぶやけた」「わたし負けましたわ」のように、上から読んで下から読んで同じ音で、なおかつある程度意味が通っている文のこと。



川柳

「5・7・5」の17音で構成されています。
季語を入れる必要がないので、俳句よりも自由で幅広い題材が多いです。
最近では「サラリーマン川柳」「シルバー川柳」なども話題になっていますね。



都都逸

「7・7・7・5」の26音で構成されています。
「ザンギリ頭をたたいてみれば文明開化の音がする」と、きっと教科書で目にしたことのあるこのフレーズも「都都逸」の一種です。



日本速脳速読協会 おすすめの本

テーマ 秋の夜長に読みたい本

すっかり秋本番!夜の時間が日に日に長くなってきました。しっとりとした静かな時間が似合う秋の夜長にぴったりの本をご紹介します。



小学低学年～
むしたちのおんがくかい
得田之久 著/久住卓也 イラスト
まちの中の公園で、むしたちが音楽会をはじめようとしたとき…ジャジャジャーと大きな音が! むしたちは、にげだしました。



小学中学年～
よるのとしかんだいぼうけん
村中李衣 著/北村裕花 イラスト
ぼくはぬいぐるみのくまきち。とおるくんにつれられてぬいぐるみのおとまり会にやってきました。本の国から、ちび騎士ジェイミー、あばれグマのジャンボンがあらわれて…よるのとしかんは、どきどきのれんぞく。



小学高学年～
名探偵コナンから紅の恋歌
水稀しま 著/青山剛昌 原作/大倉崇裕 脚本
TV局で百人一首の第一人者と対談予定だった毛利小五郎。だが爆発予告があったと警察から避難指示が出る。そんな中、江戸川コナンと服部平次は、ある女の子と出会い…。



中学生～
君は月夜に光り輝く
佐野徹夜 著
大切な人の死から、どこかなげやりに生きてる僕。高校生になった僕のクラスには、「発光病」で入院したままの少女がいた。余命わずかな彼女に、死ぬまでにしたいことがあると知り…

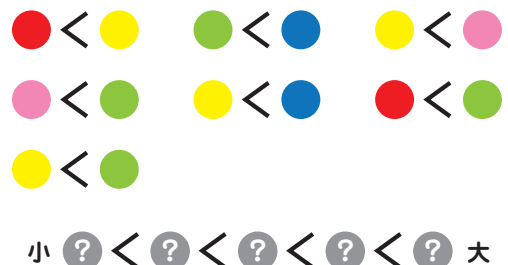


高校生～
きみはボラリス
三浦しん 著
誰かをとても大切に思うとき放たれる、ただひとつの特別な光。カタチに囚われずその光を見出し、感情の宇宙を限りなく広げる、最強の小説短編集。

頭の体操 脳トレ

赤、ピンク、黄色、青、黄緑の色がついた5つの○があります。それぞれ大きさが違っており、比べると下のようになります。

これらの5つの○を左から小さい順に並べましょう。



答えはわかったかな?
正解は、10/25に配信のお知らせと忍犬かわら版11月号で発表します。
▶9月号の答え 酒屋さん(くわしい解説は9/25配信のお知らせを見てね!)